

平成25年度実施（平成26年2月～3月） 子どもの権利アンケート結果

■ 調査対象

小学校5年生 850人（市内小学校30校 5年生1クラス対象）

中学校2年生 650人（市内小学校23校 2年生1クラス対象）

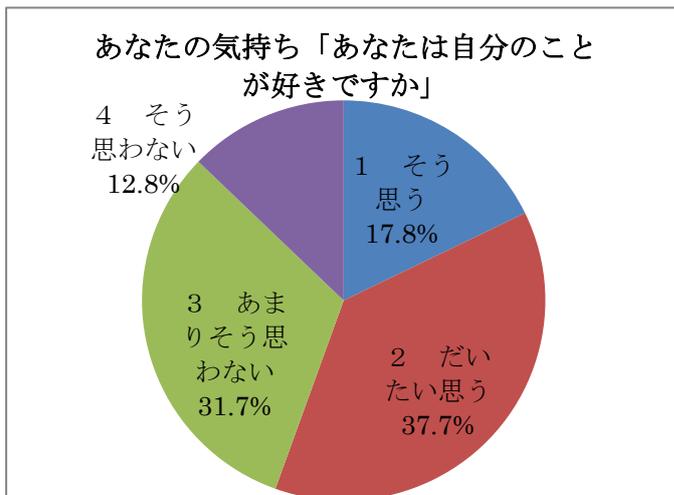
高等学校1・2年生 1,000人（市内高校13校 1・2年生1クラス対象）

■ 子どもの権利アンケートの調査結果

学年	回答人数	回収率	男	女	不明
小学生(5年生)	800	94.1%	403	386	11
中学生(2年生)	604	92.9%	296	283	25
高校生(1年生)	438	87%	222	207	9
高校生(2年生)	432		205	219	8
合計	2,274	91%	1,126	1,095	53

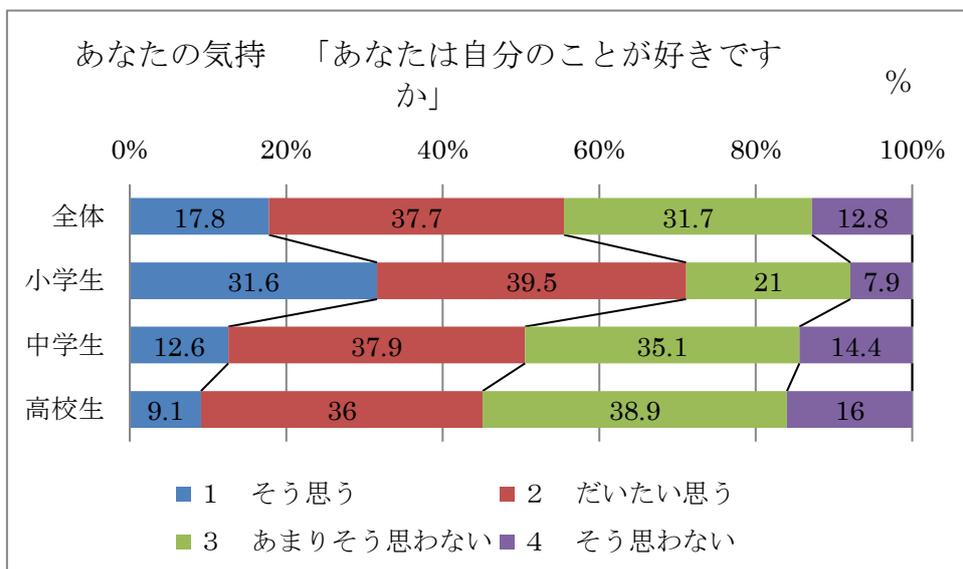
[子どもの気持ちについて]

問4 あなたは、自分のことが好きですか

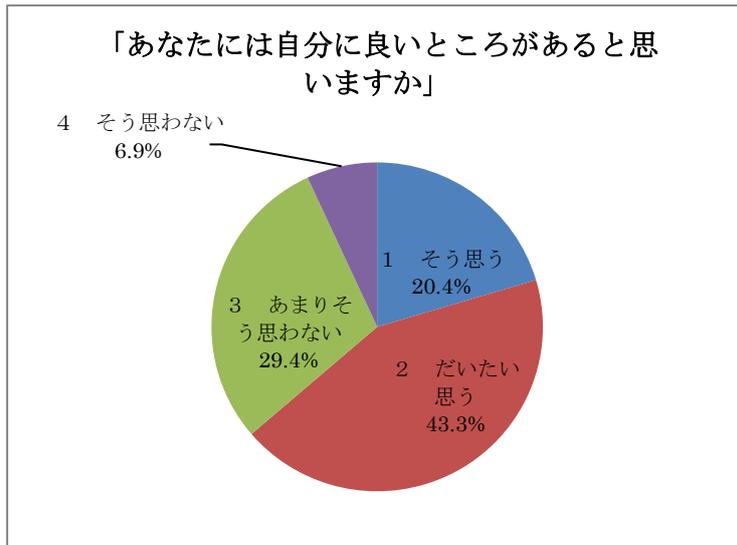


・自分のことが「好き、だいたい好き」な自己肯定感の高い子どもは55.5%。前回の調査の、51.6%より高くなった。

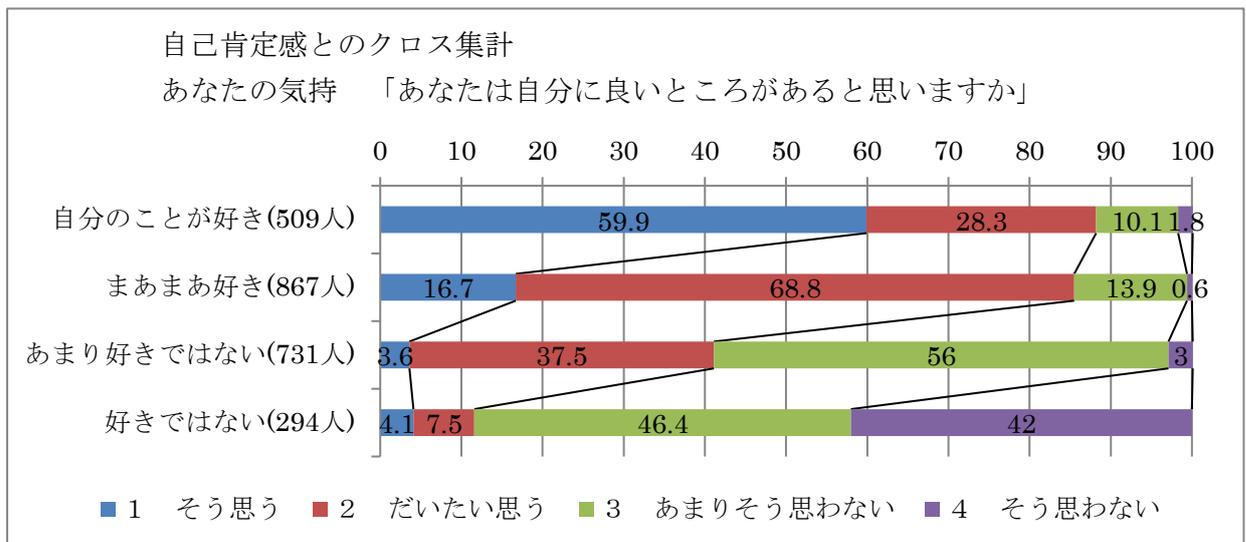
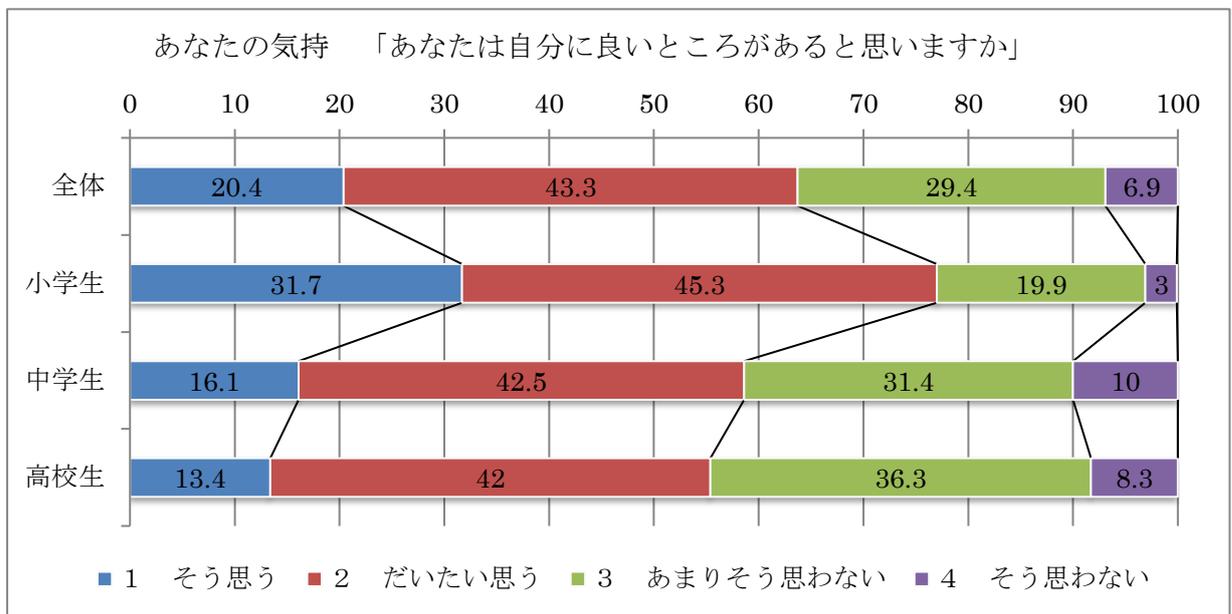
・年齢が上がるにつれて、自分のことが「好き、だいたい好き」な子どもの割合が減少する傾向がある。



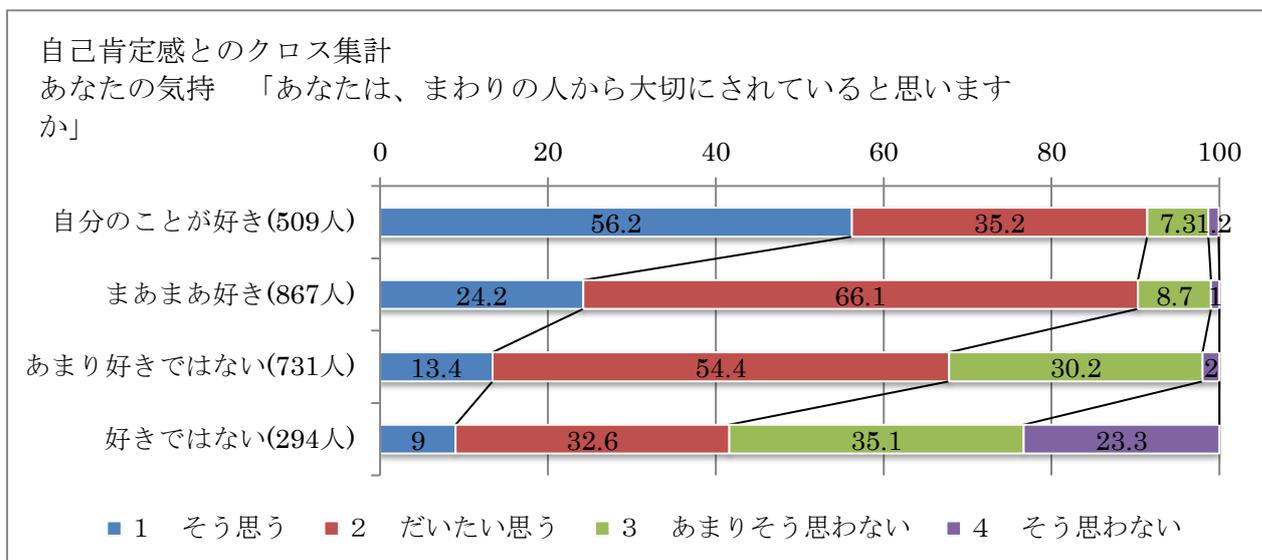
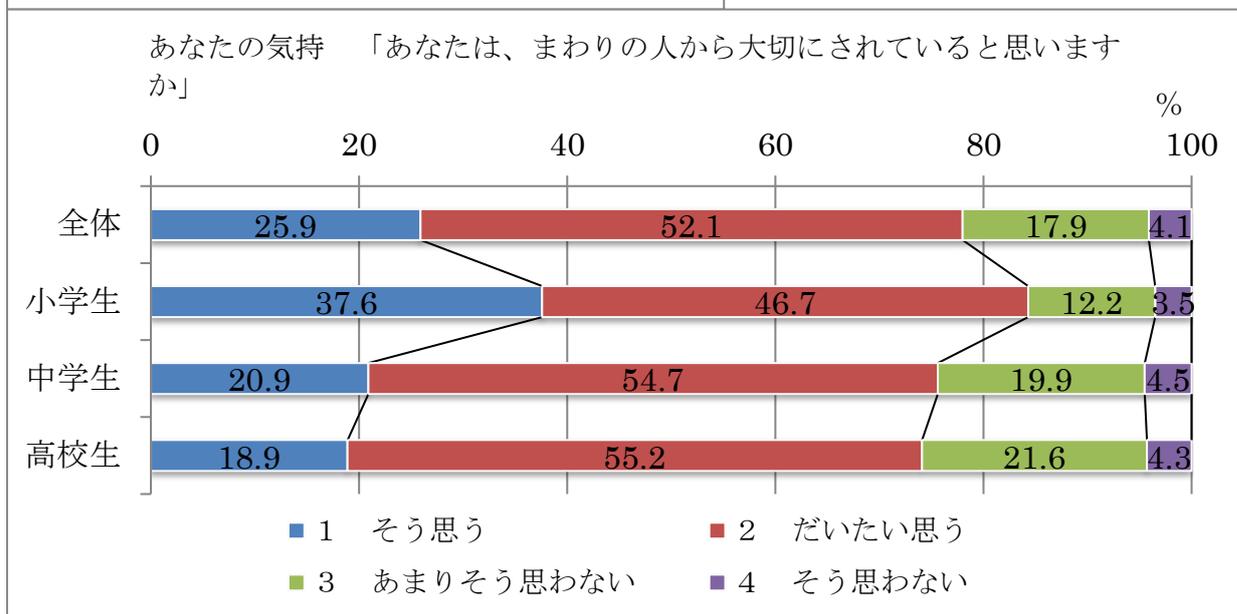
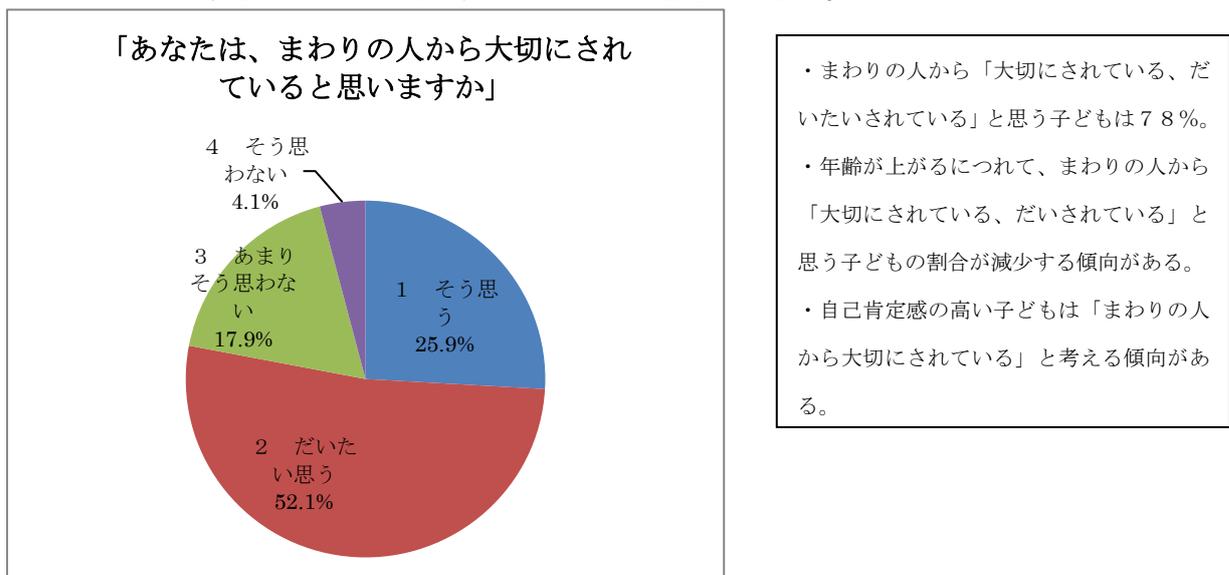
問5 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。



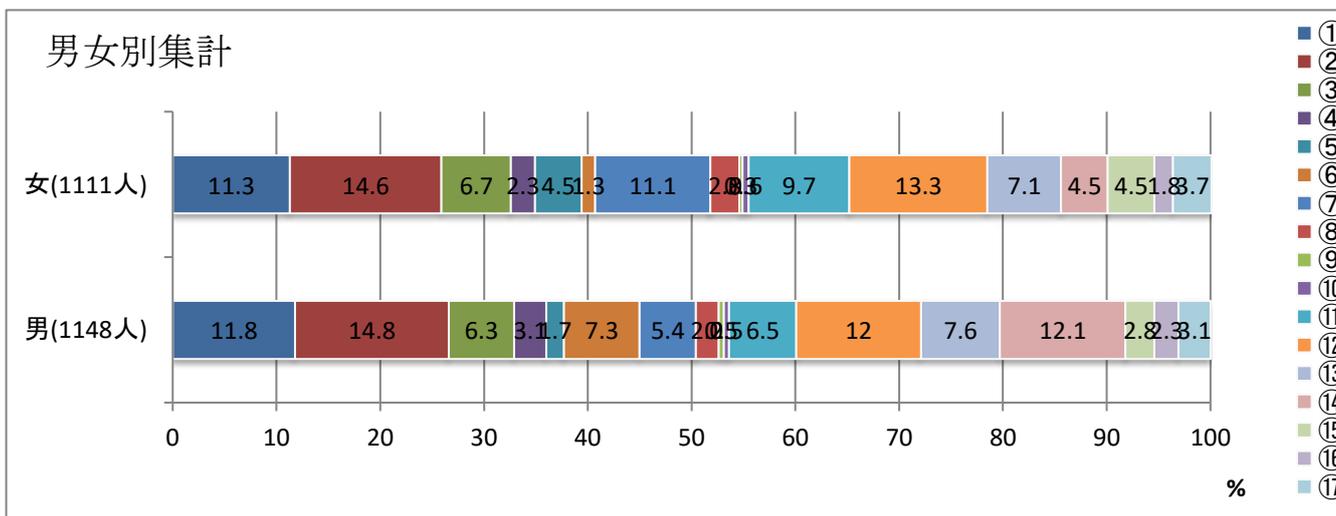
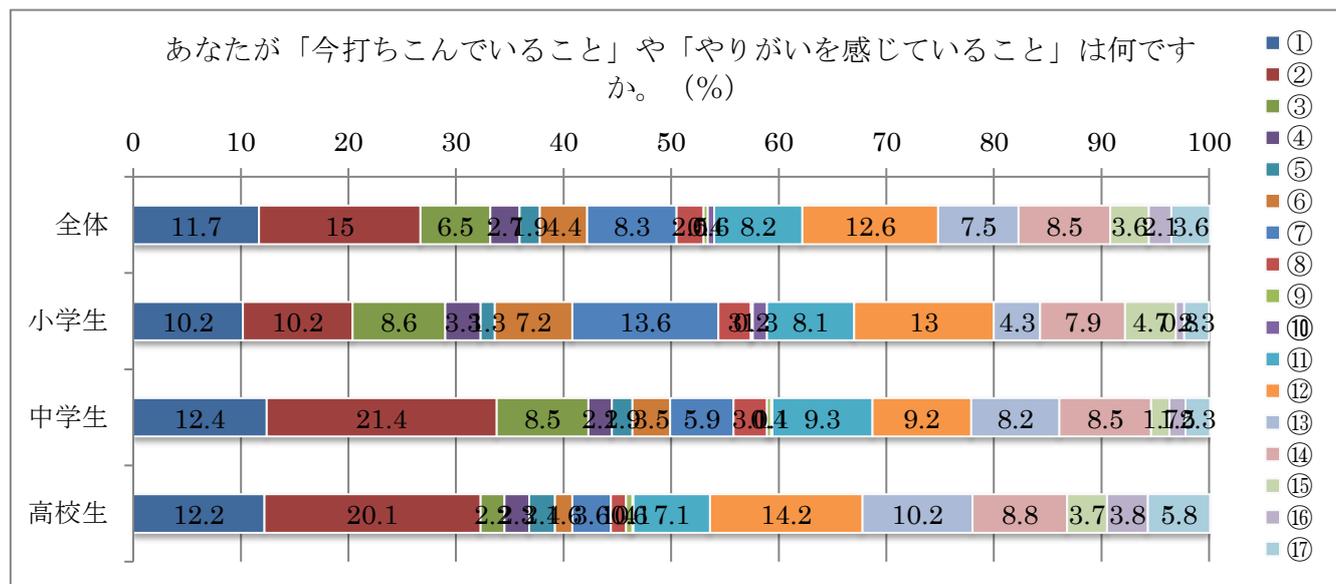
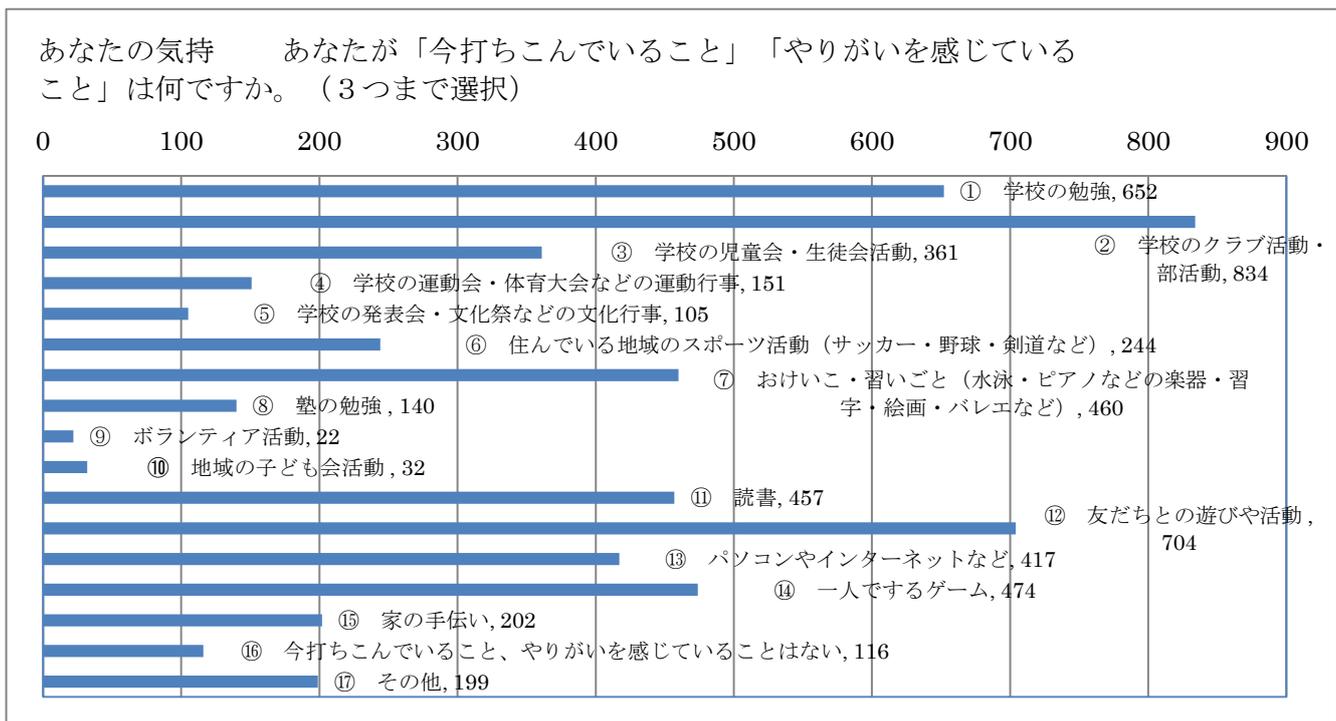
- ・自分には「良いところがある、だいたいある」と思う子どもは63.7%。
- ・年齢が上がるにつれて、自分には「良いところがある、だいたいある」と思う子どもの割合が減少する傾向がある。
- ・自己肯定感の高い子どもは「自分には良いところがある」と考える傾向がある。

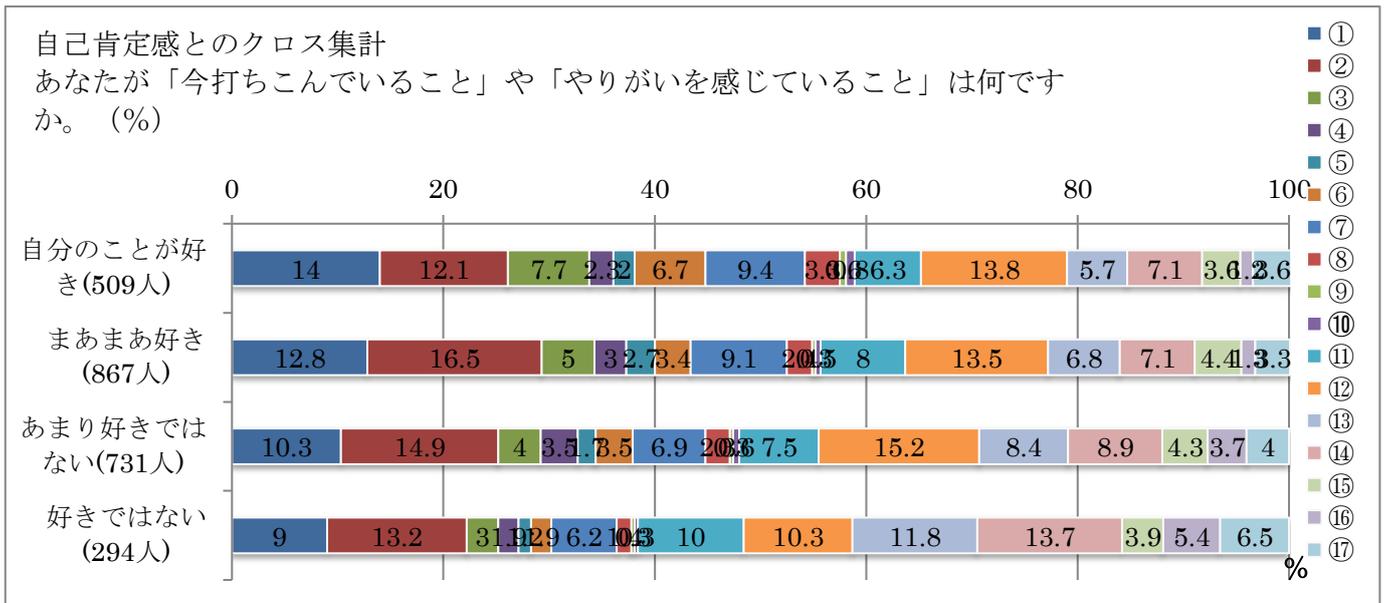


問6 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。



問7 あなたが、「今打ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。

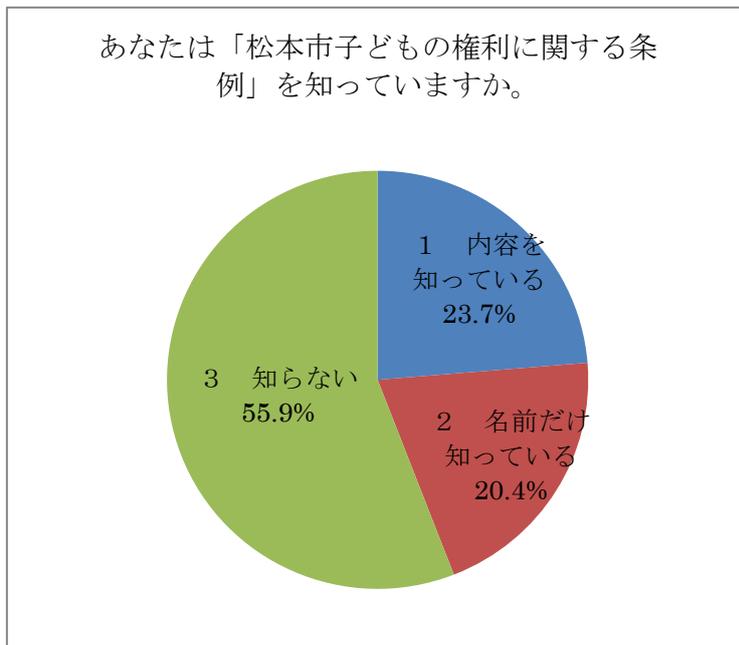




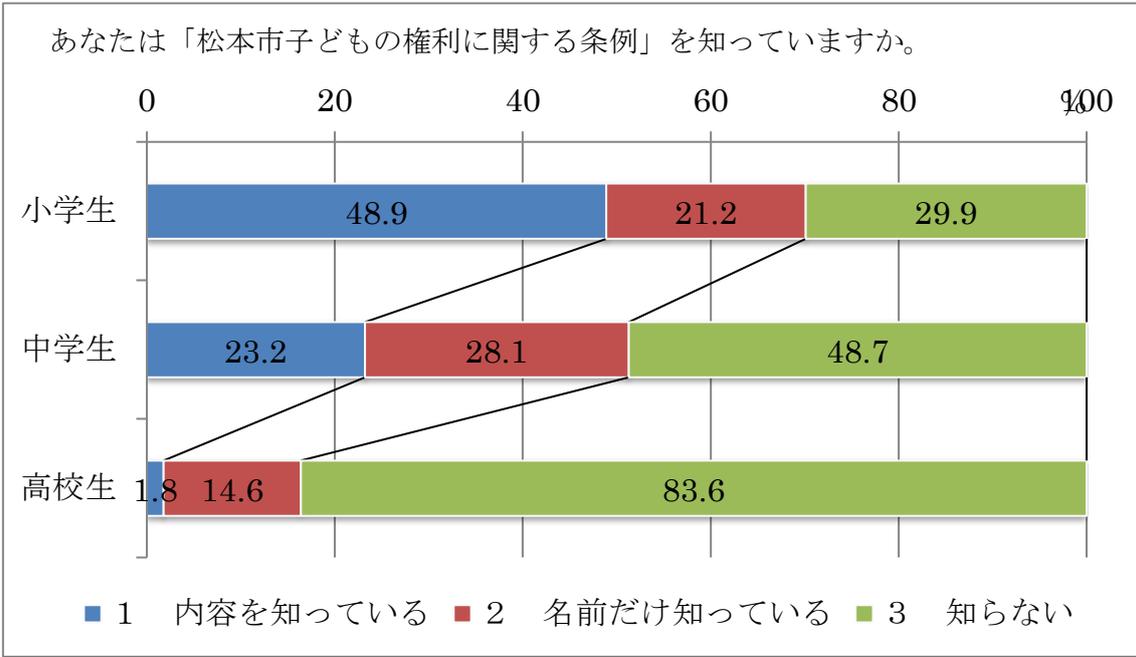
- ・今打ちこんでいること、やりがいを感じていることとして、「学校のクラブ活動、部活動」「友だちとの遊び」「学校の勉強」の順に回答する子どもが多い。
- ・小学生は、「おけいこ、習いごと」の割合が一番高く、中学生以上になると「部活動」の占める割合が増える。
- ・自己肯定感が高い子どもは、「学校の勉強」「学校の児童会・生徒会活動」「おけいこ・習いごと」に比較的に多く回答している。

[松本市子どもの権利に関する条例について]

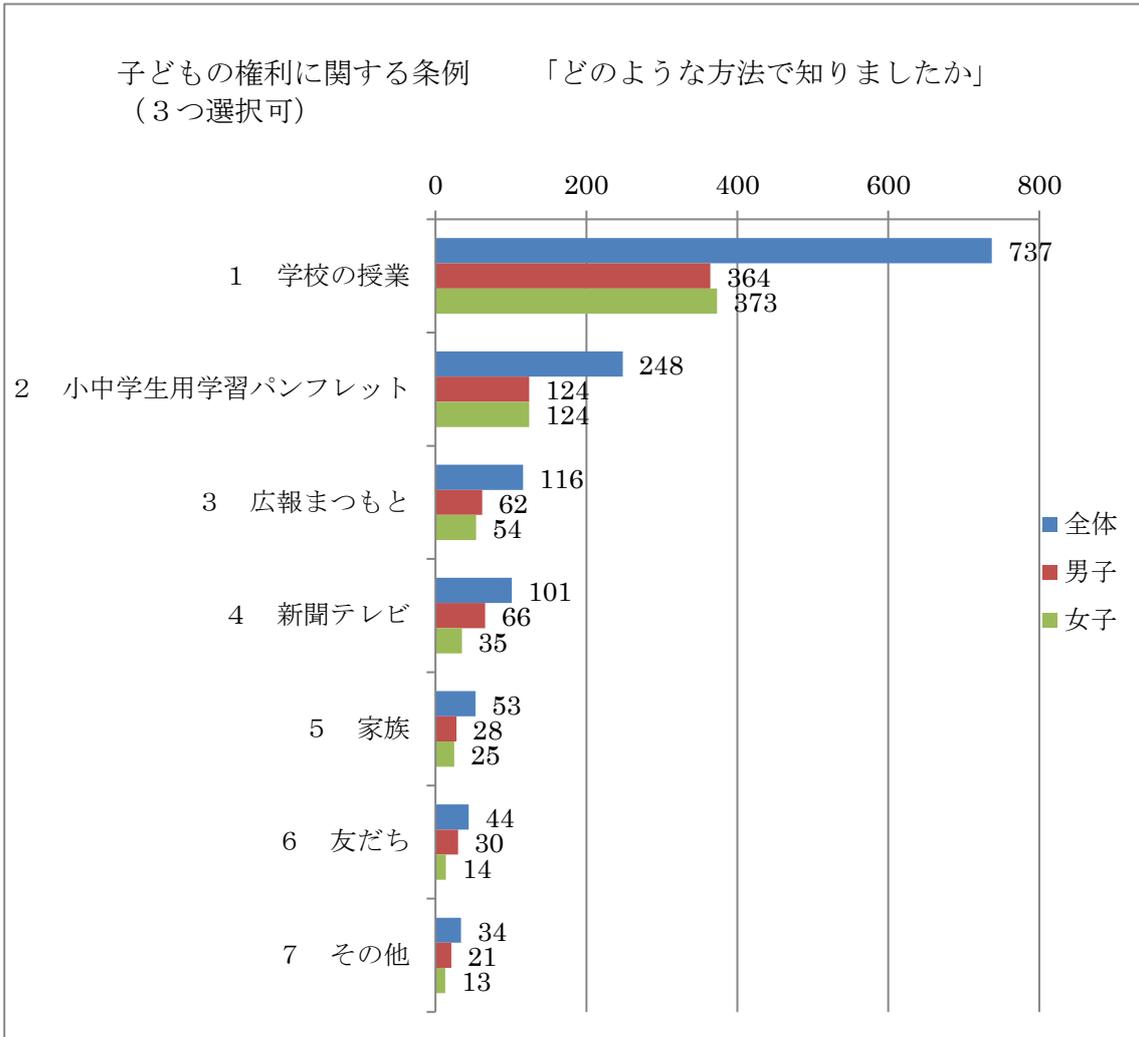
問8 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。



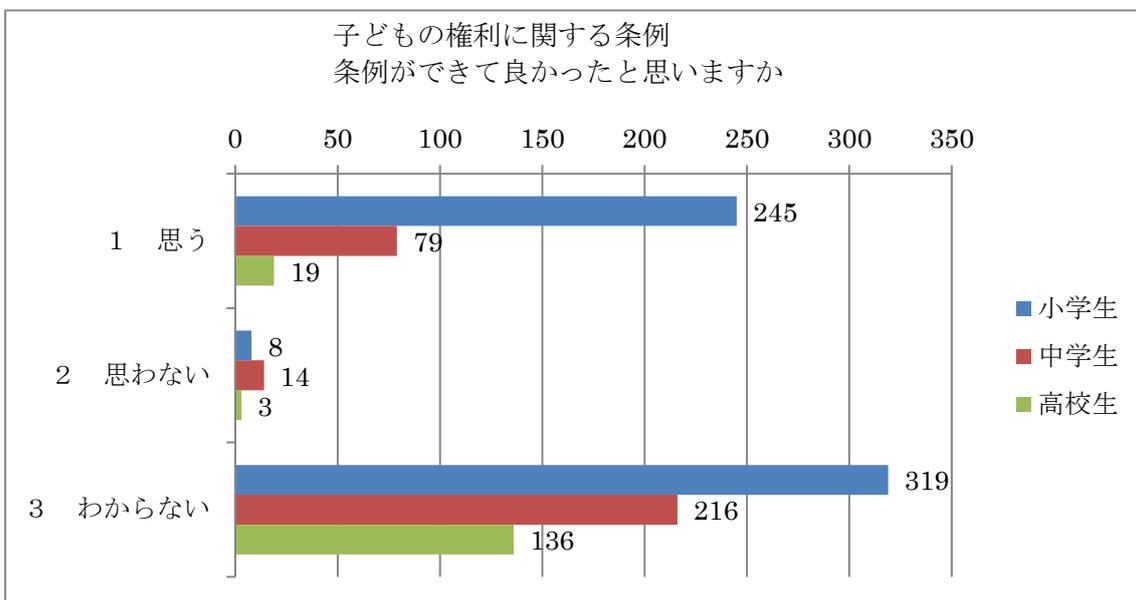
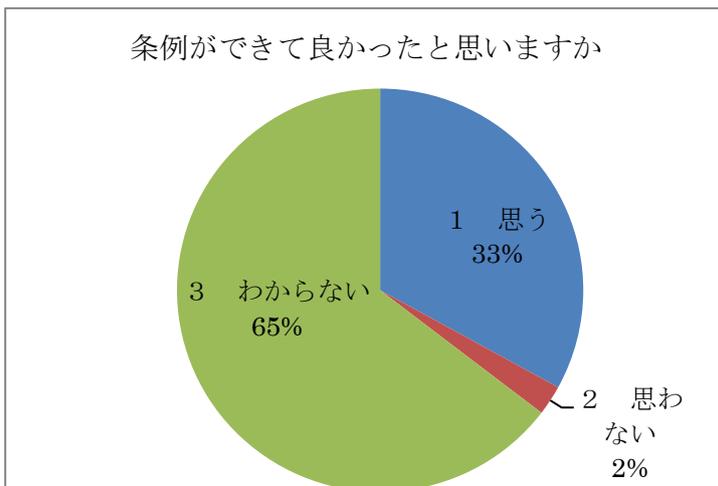
- ・条例の「内容を知っている、名前だけを知っている」子どもは44.1%
- ・小学生の半数は、条例の内容を知っていて、学校の授業、学習パンフレットで知った子どもが多い。



問9 「子どもの権利に関する条例」をどのような方法で知りましたか。



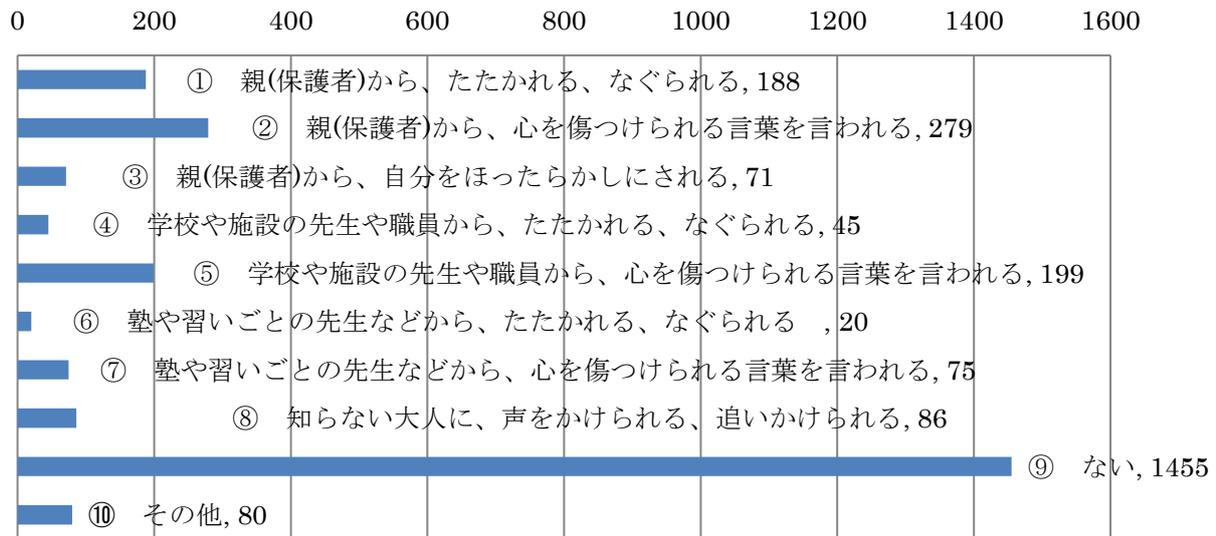
問10 「子どもの権利に関する条例」ができて良かったと思いますか



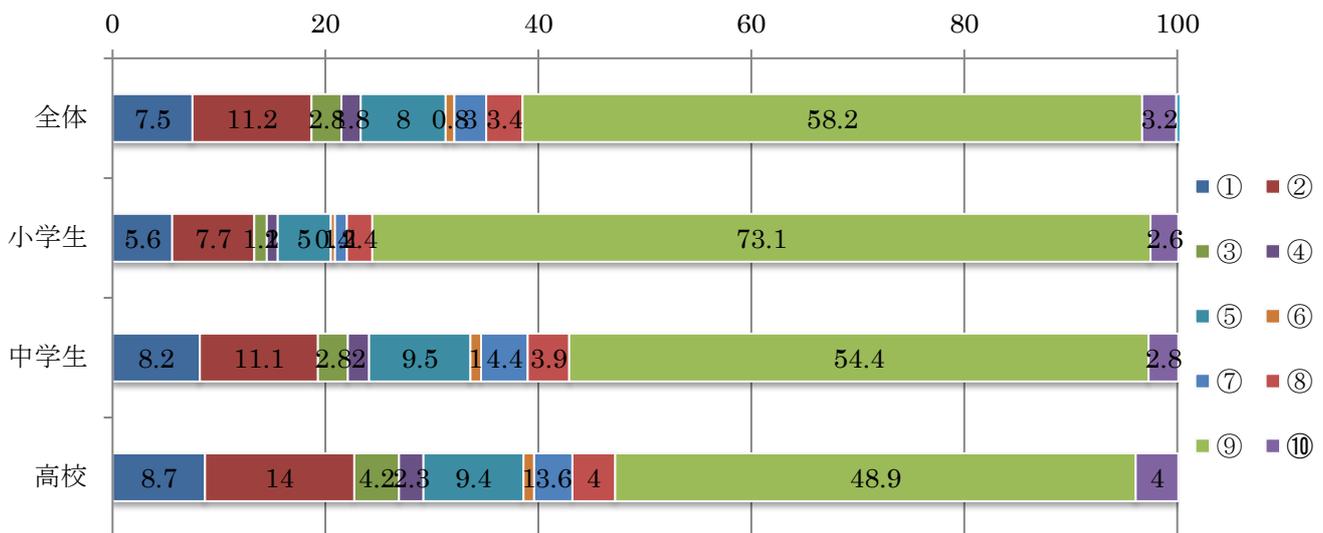
[子どもが悩んでいること、困っていること]

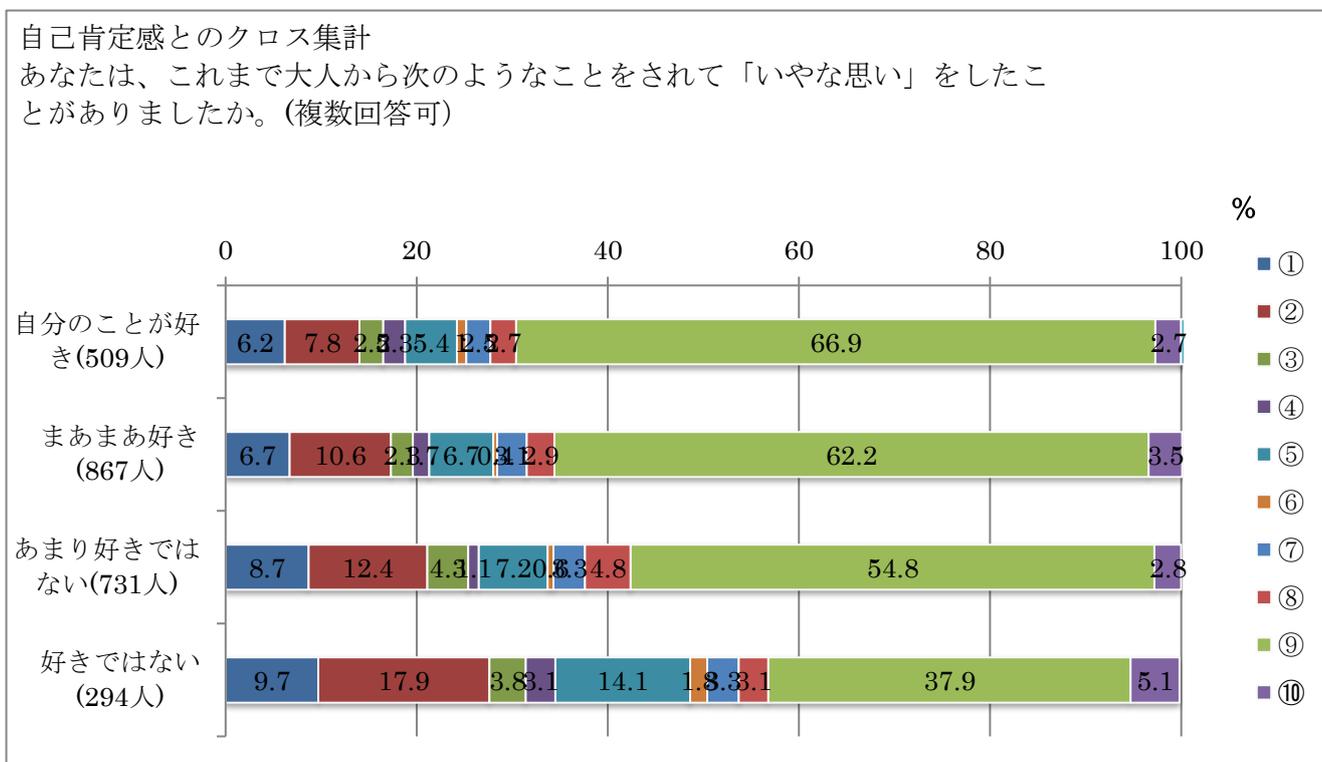
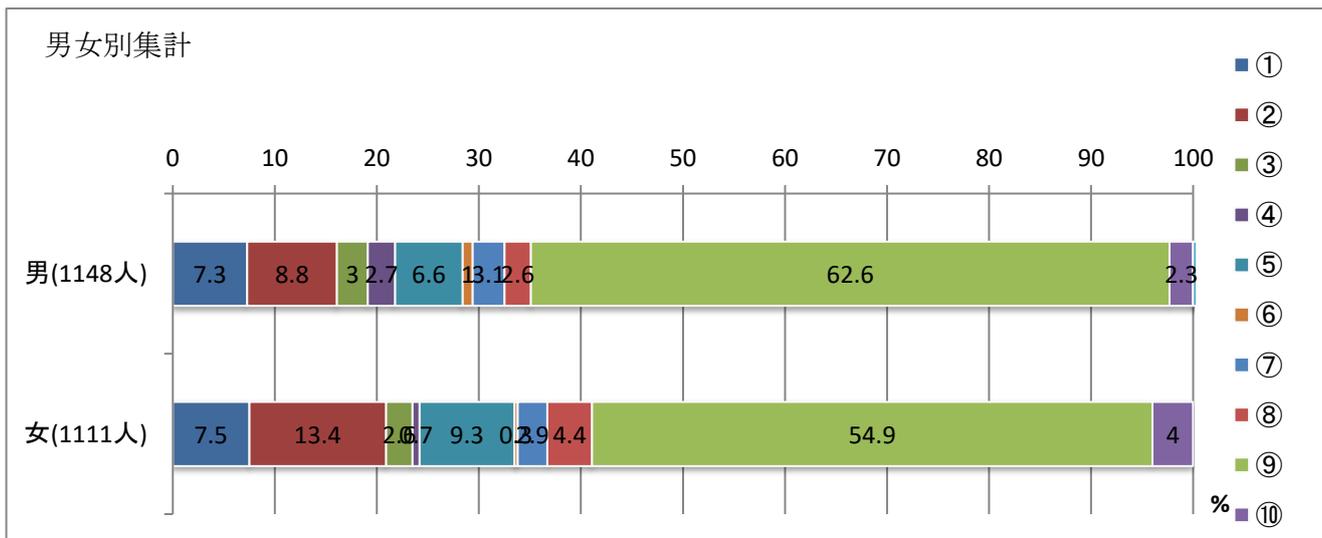
問11 あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。

あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。(複数回答可)



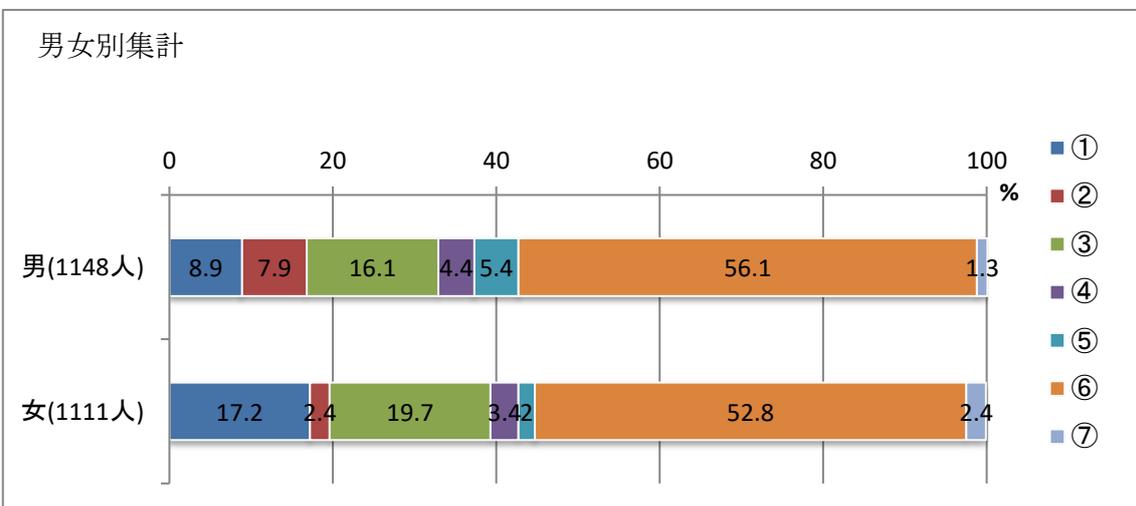
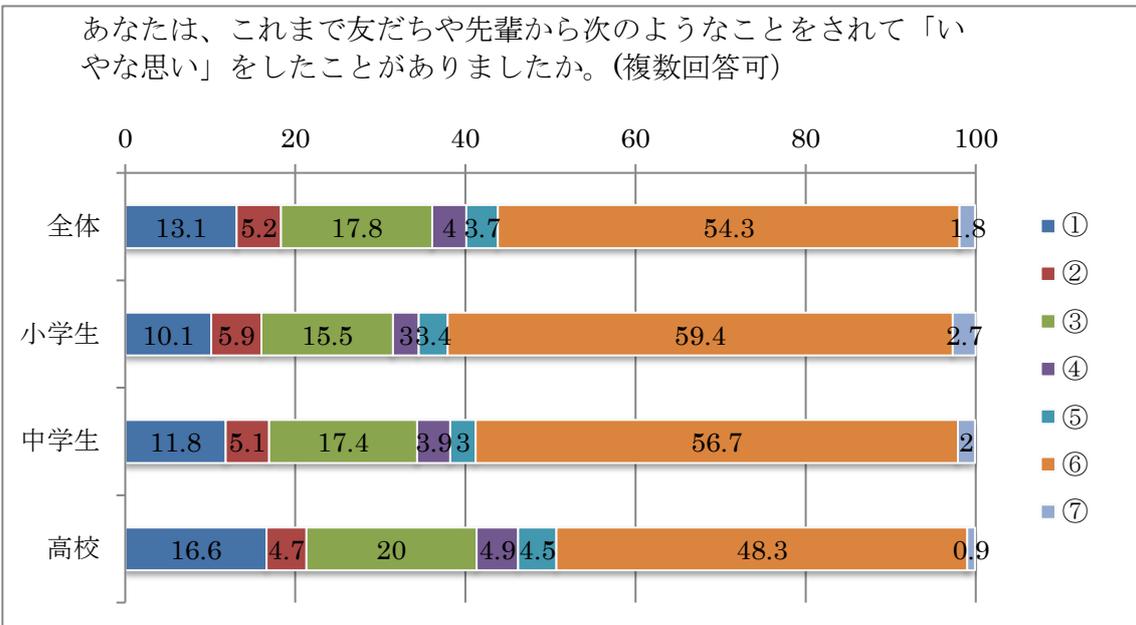
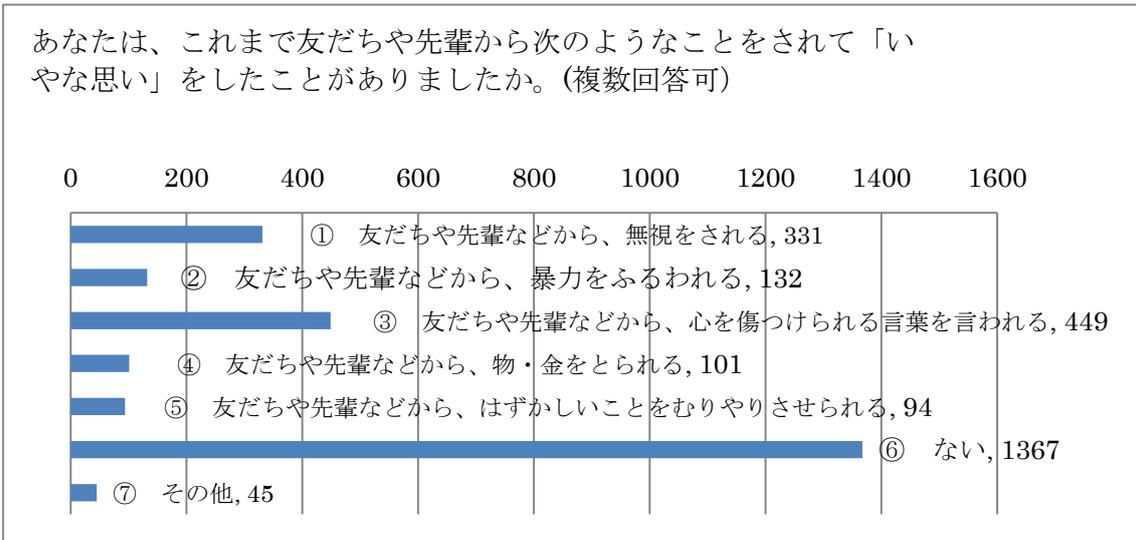
あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。(複数回答可)





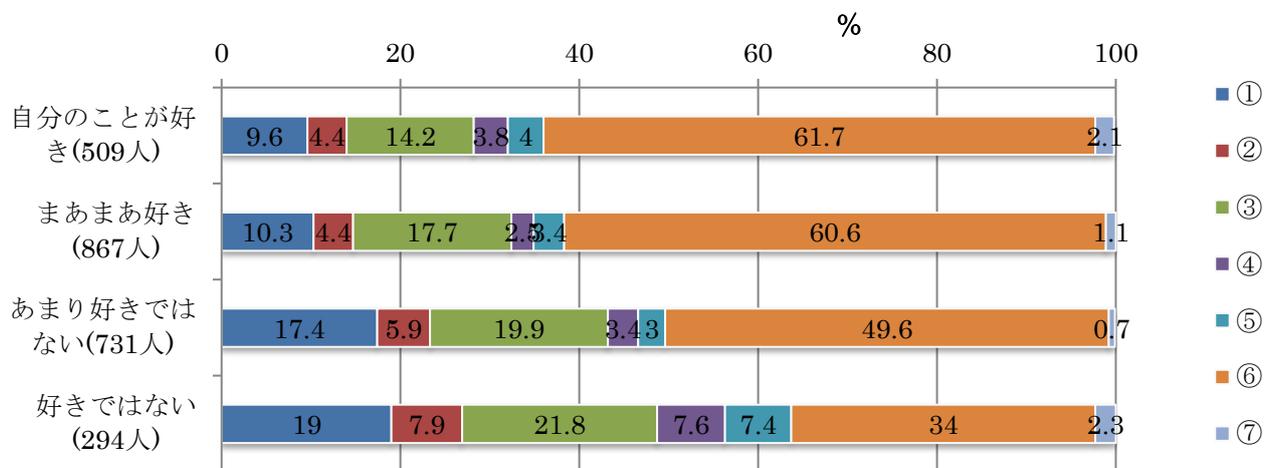
- ・大人から「いやな思い」をしたことがない子どもは64.0%。前回の調査の6.3%より低くなっている。
- ・自己肯定感の低い子どもは、大人から「いやな思い」をしたことがある割合が高くなっている。

問12 あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。



自己肯定感とのクロス集計

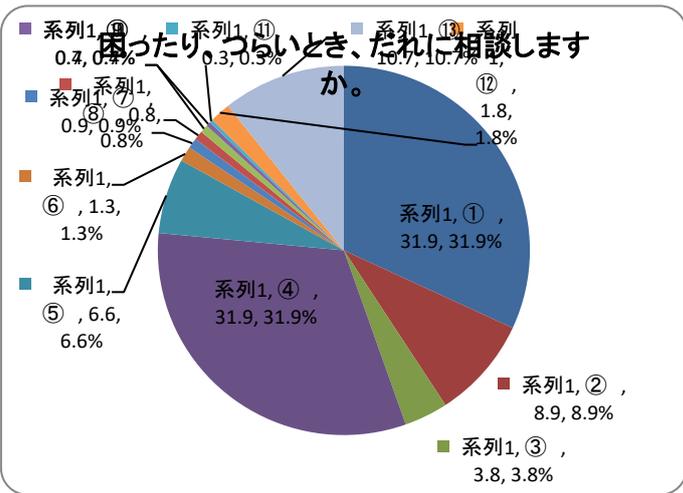
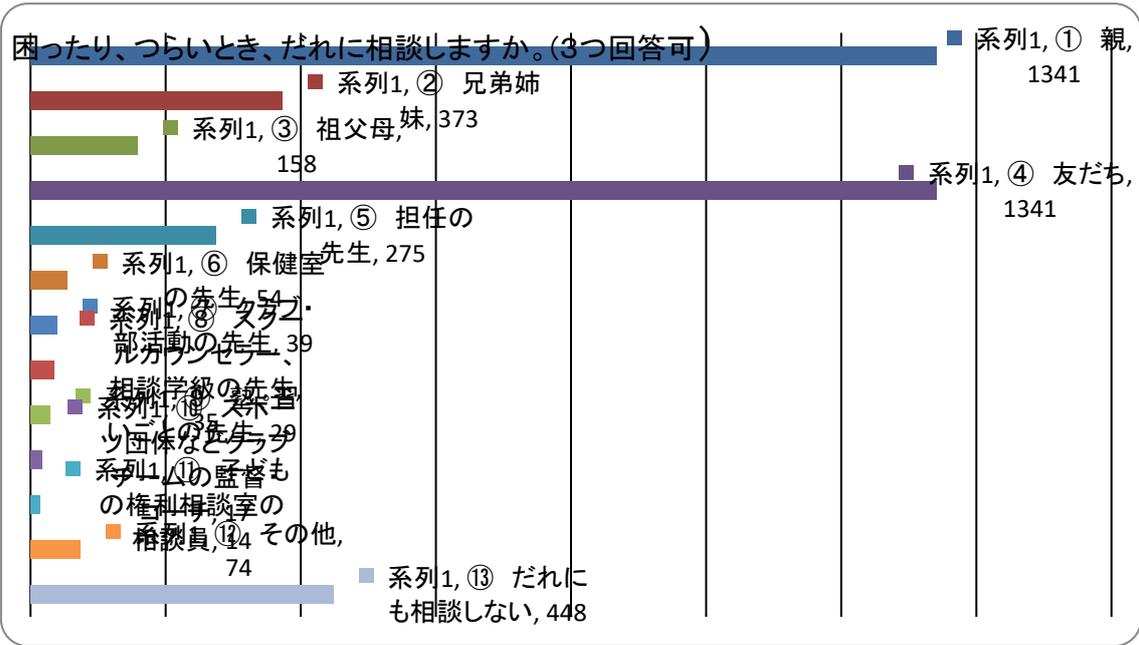
あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。(複数回答可)



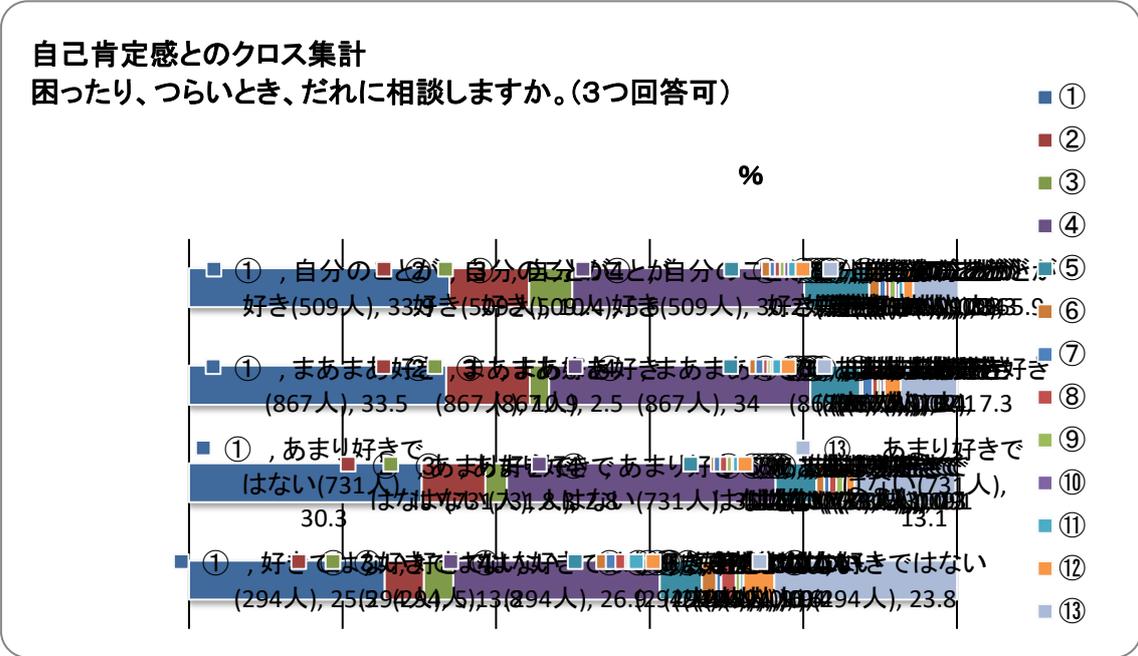
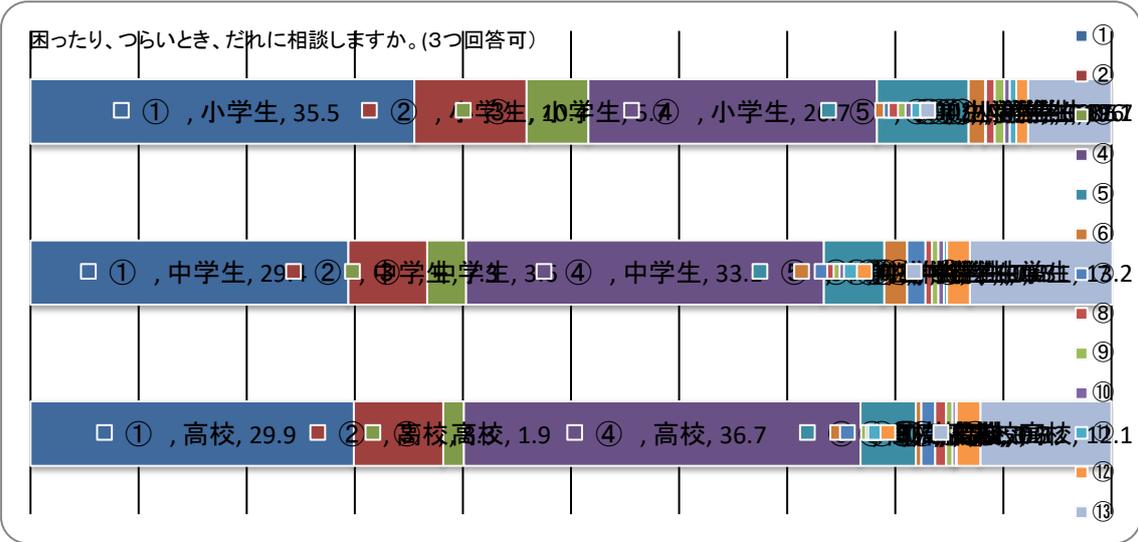
- ・友だちや先輩から「いやな思い」をしたことがない子どもは60.1%。前回の調査より6.9%低くなっている。
- ・自己肯定感の低い子どもは、友だちや先輩から「いやな思い」をしたことがある割合が高くなっている。

[子どもの困っていること、つらいことの相談]

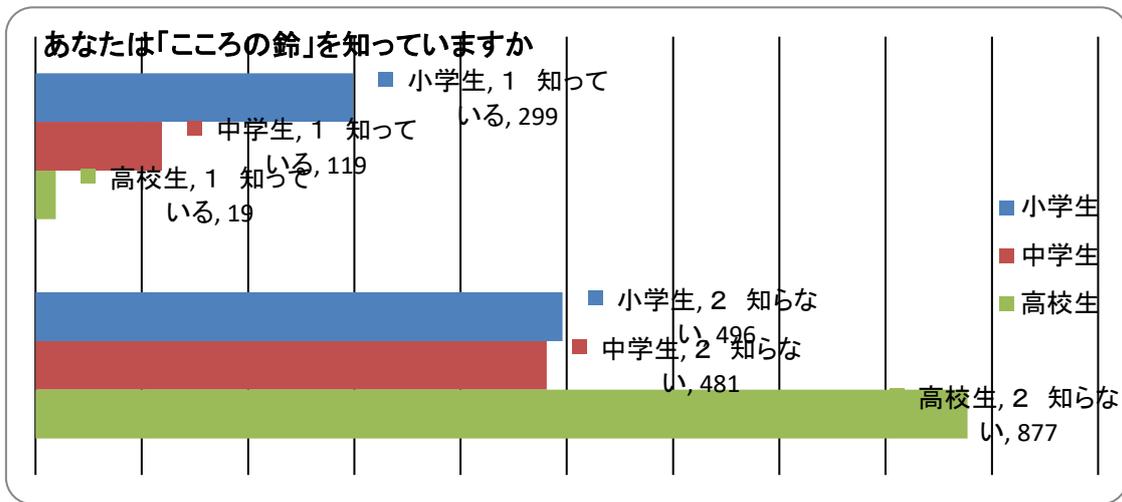
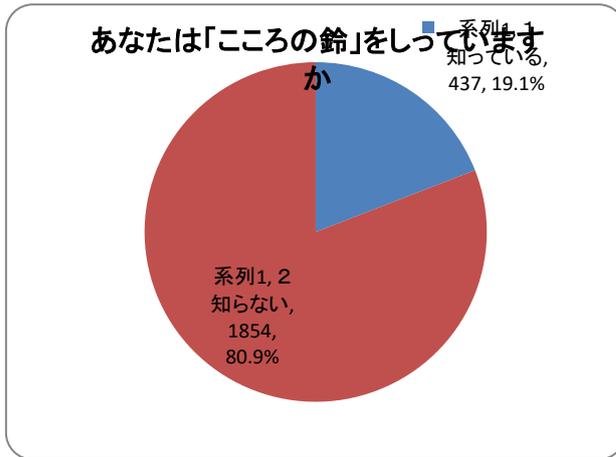
問12 困ったり、つらいとき、だれに相談しますか。



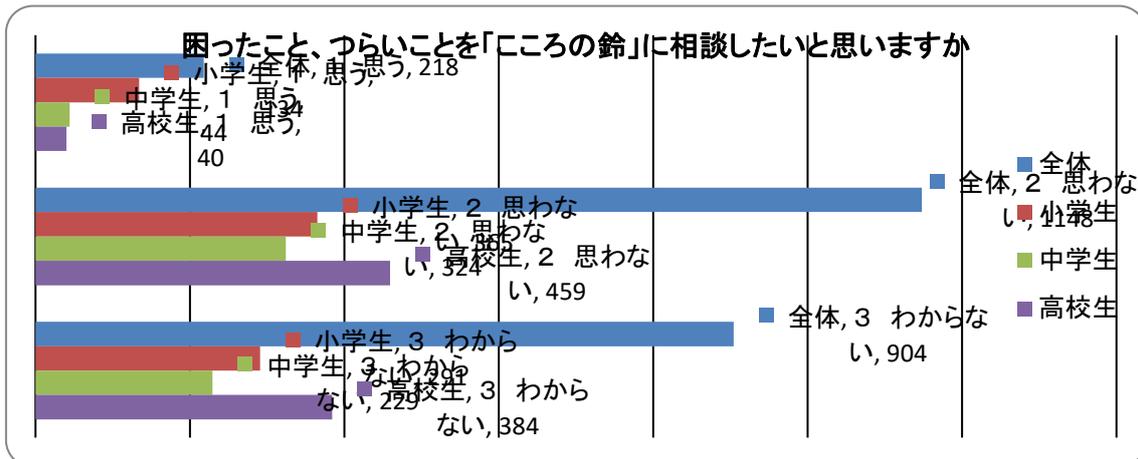
・困ったり、つらいときの相談相手として、親、友だちを回答した子どもが多い。
だれにも相談しない子どもが19.7%いる。



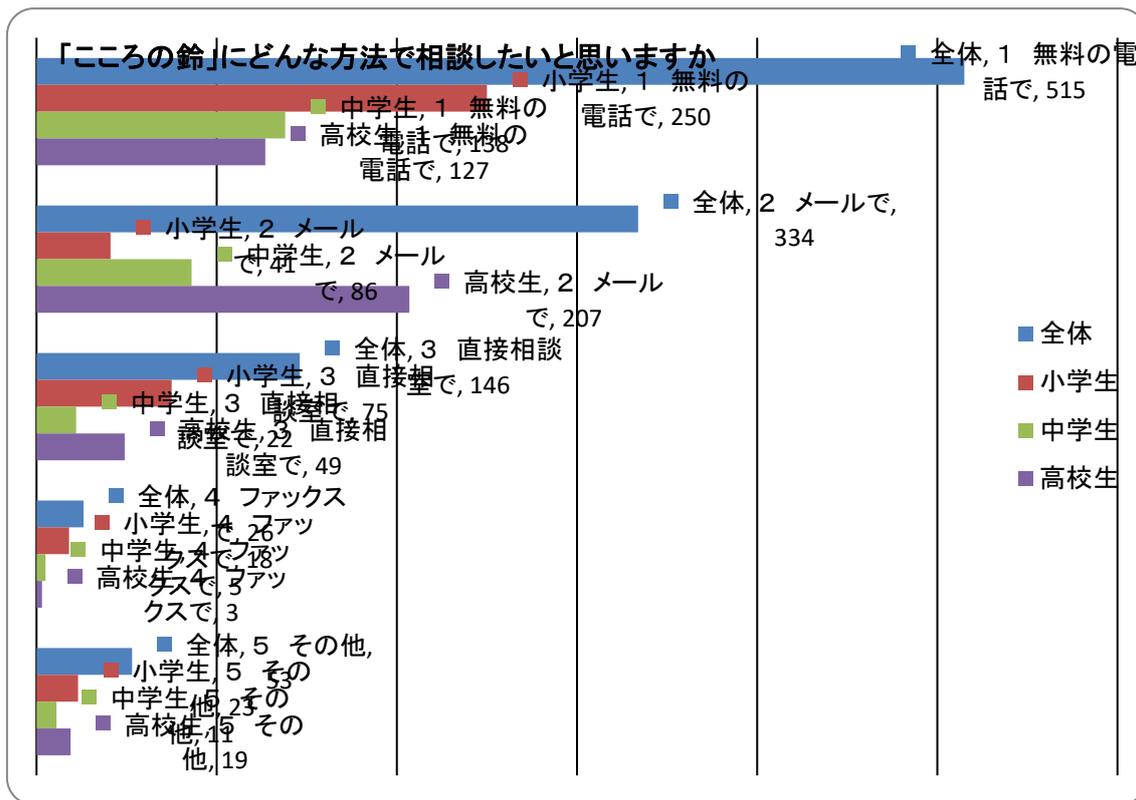
問 14 あなたは、子どもの権利相談室「こころの鈴」を知っていますか。



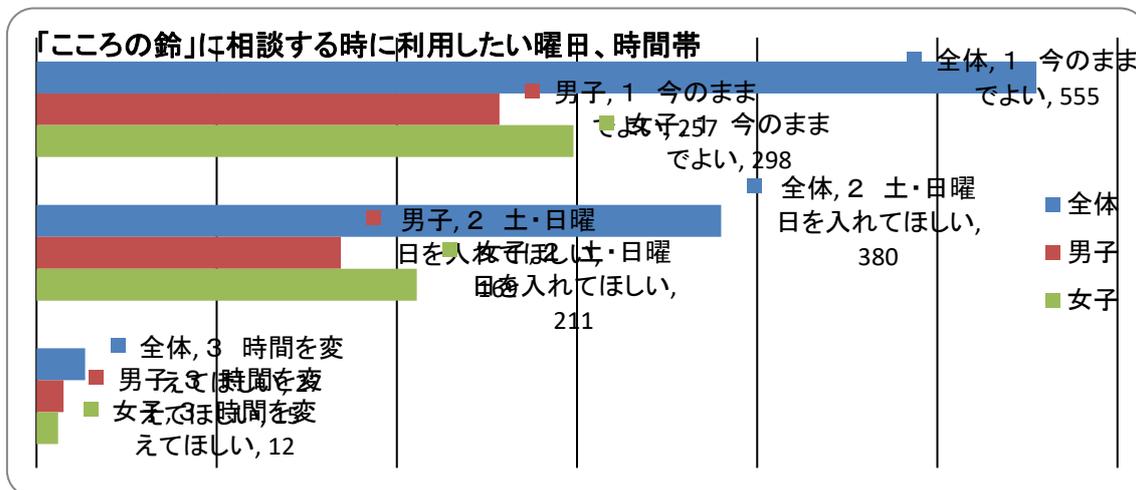
問 15 あなたは、困ったこと、つらいことを「こころの鈴」に相談したいと思いますか。



問 16 あなたは、「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。

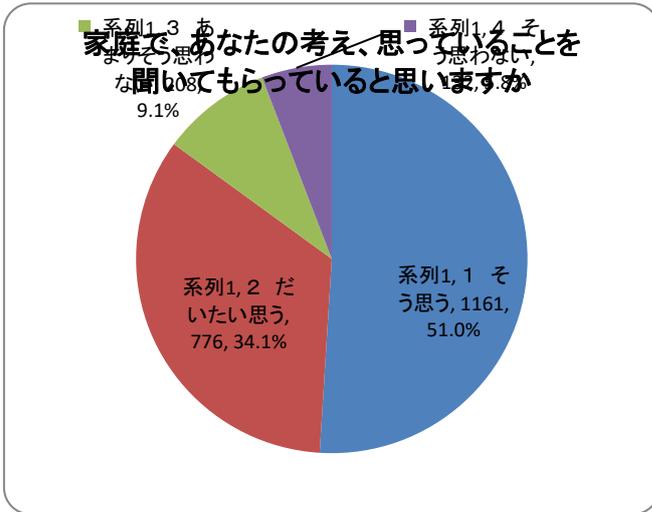
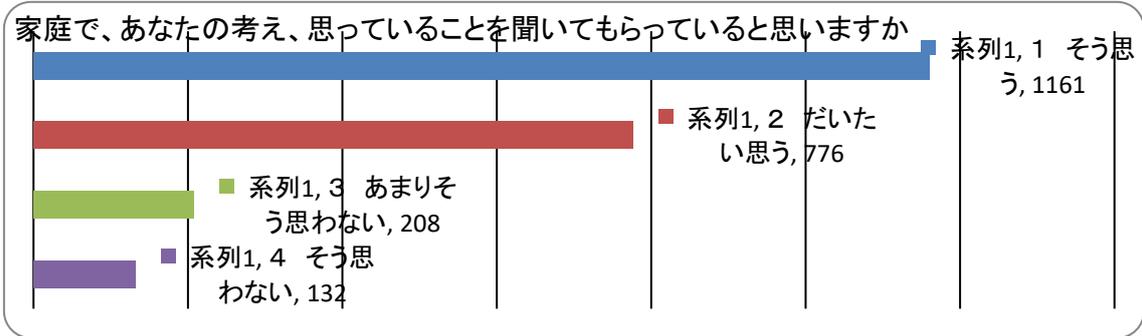


問 17 あなたは、「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日、時間帯を教えてください。

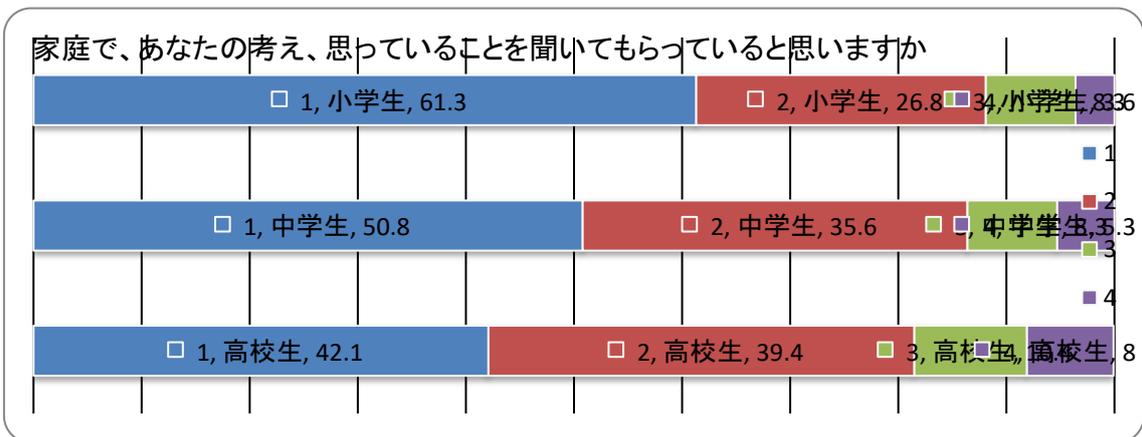


[子どもが意見を言ったりする機会]

問18 家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。

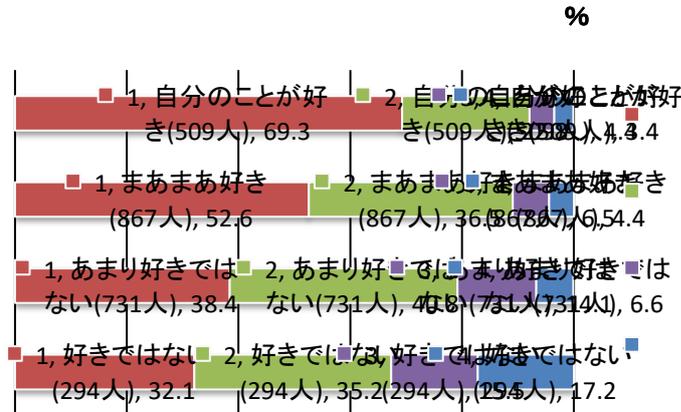


- ・「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」と思う子どもの割合は85.1%
- ・年齢が上がるにつれて、「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」子どもの割合が減少する傾向がある。
- ・自己肯定感の高い子どもは「家庭で、自分の考え等を聞いてもらっている」と考える傾向がある。
- ・聞いてもらっている内容は、「進路・進学先」「塾や習いごと」の順に回答する子どもが多い。

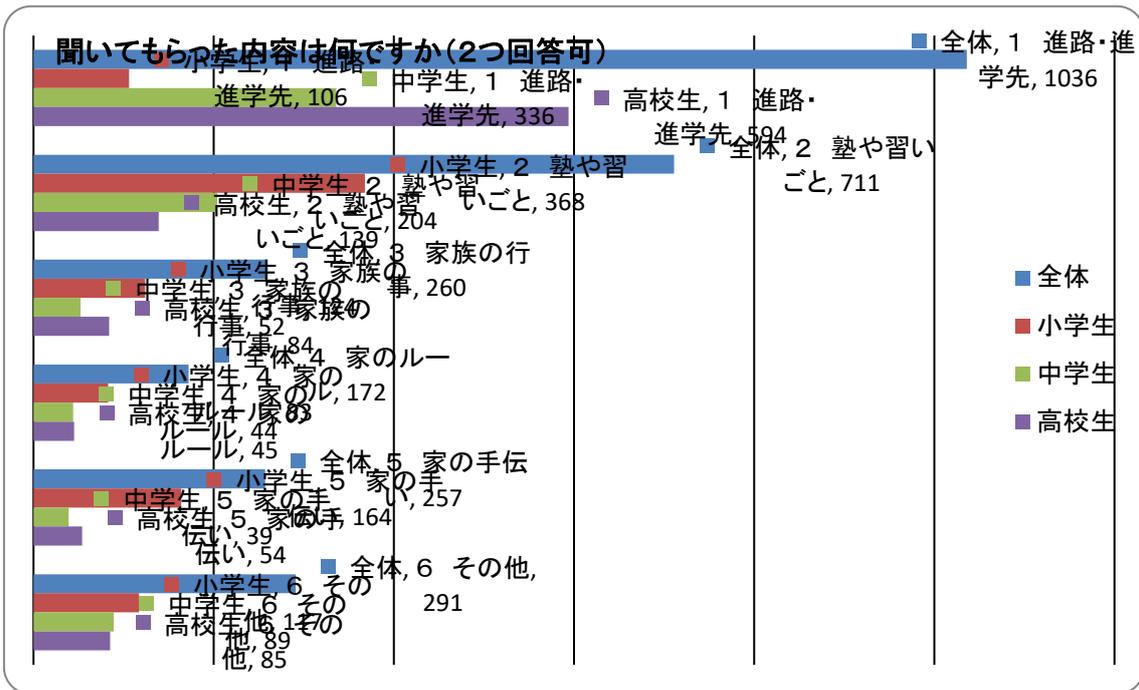


自己肯定感とのクロス集計

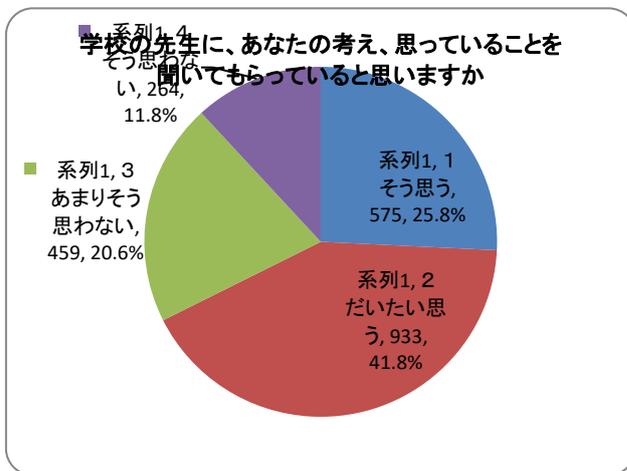
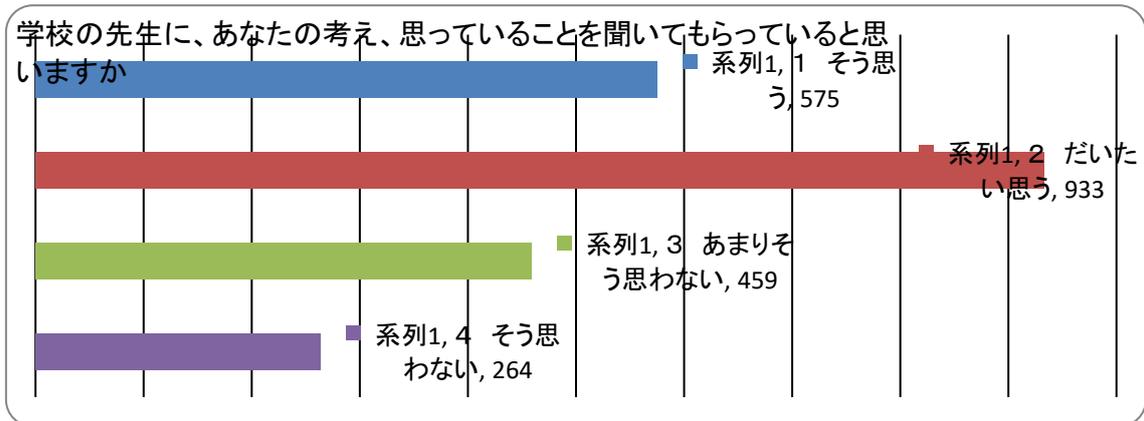
家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか



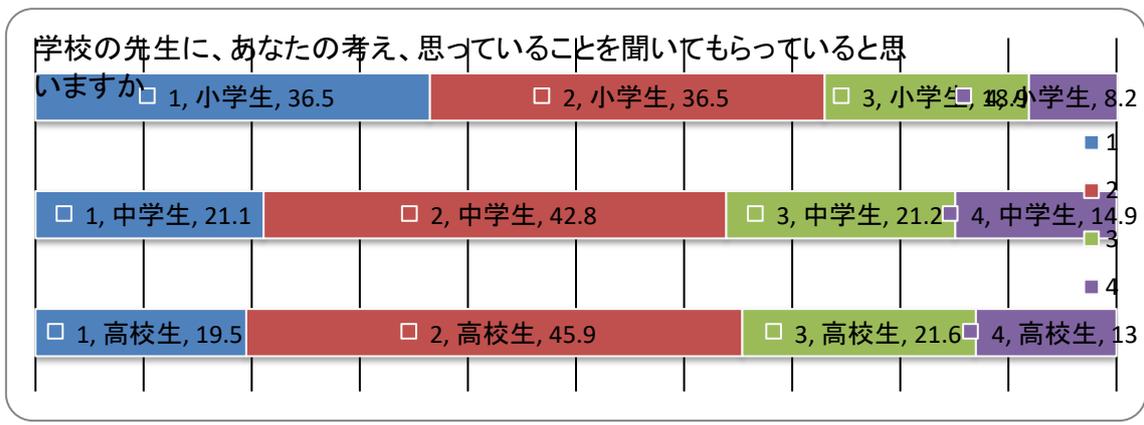
問 19 家庭で、聞いてもらった内容は何ですか。



問20 学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。

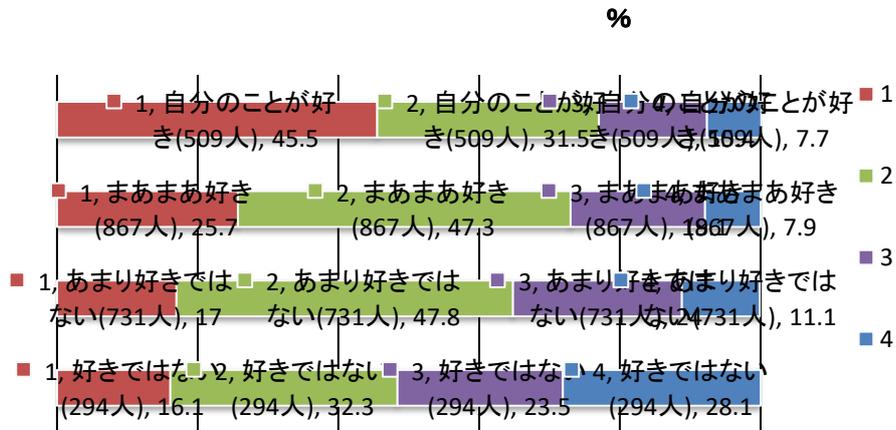


- ・学校の先生に、あなたの考え、思っていることを「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」と思う子どもの割合は67.6%
- ・自己肯定感の高い子どもは「学校の先生に、自分の考え等を聞いてもらっている」と考える傾向がある。
- ・聞いてもらっている内容は、「クラブや部活動」「学習の仕方、学校のルール」「児童会・生徒会活動」の順に回答する子どもが多い。

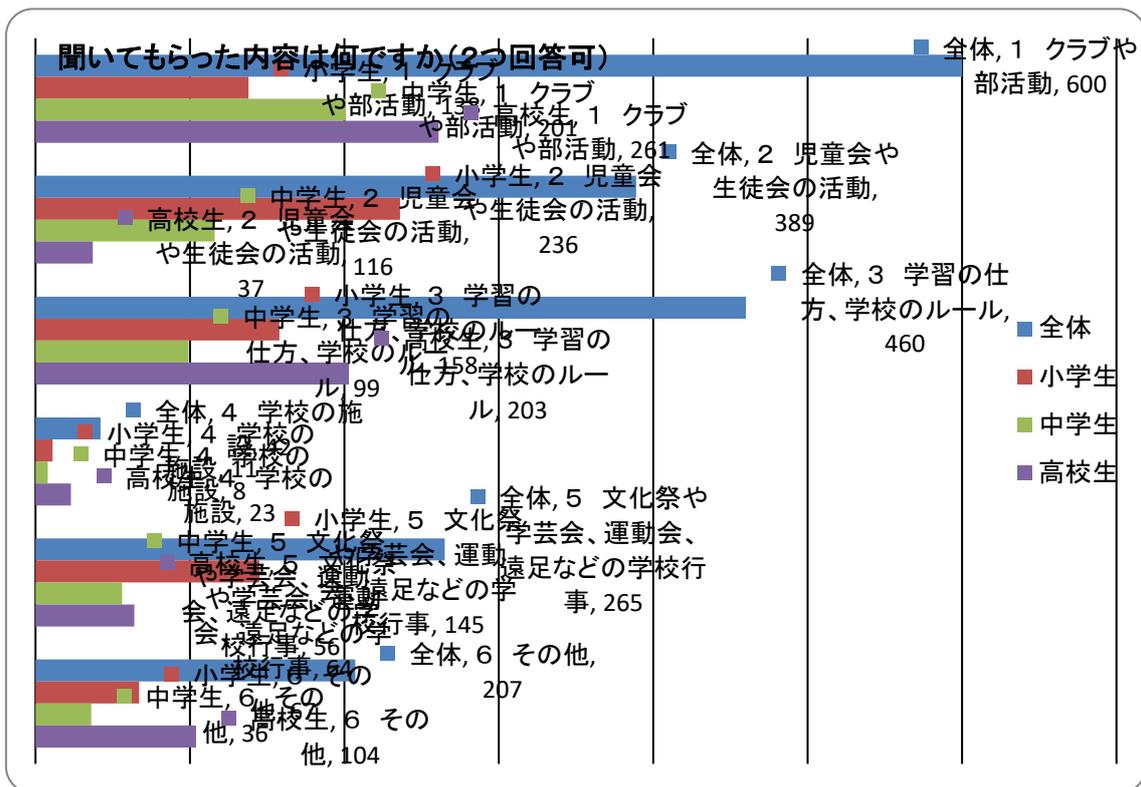


自己肯定感とのクロス集計

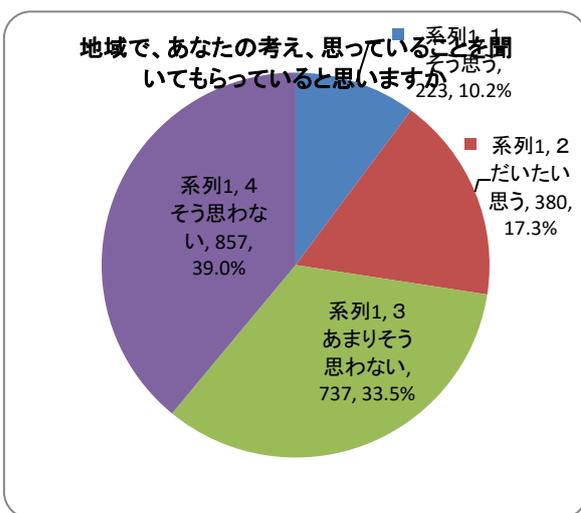
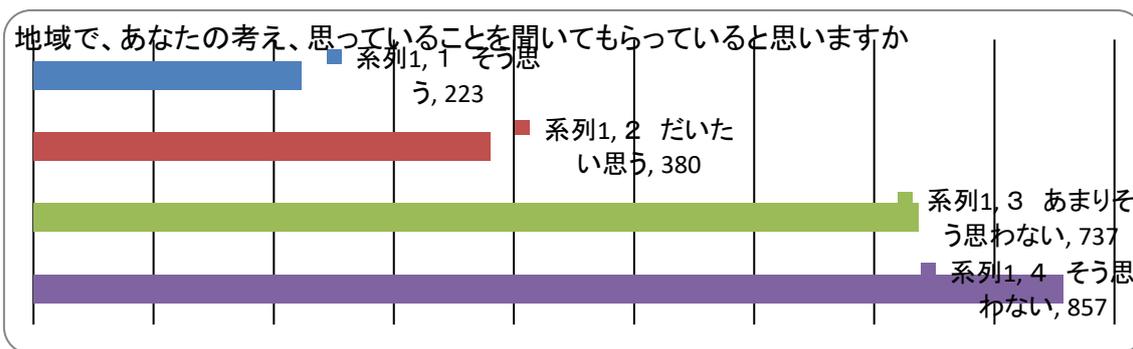
学校の先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか



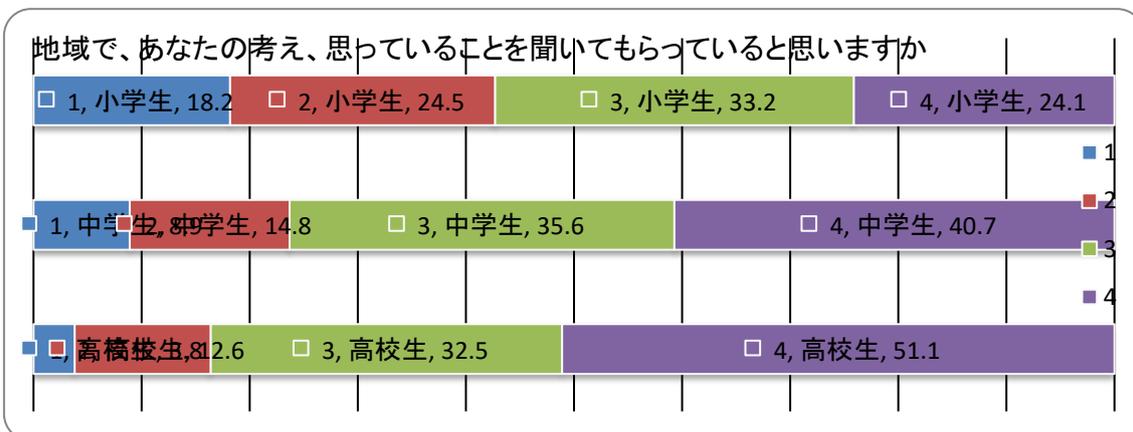
問2 1 学校で先生に、聞いてもらった内容は何か。



問2 2 地域で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。

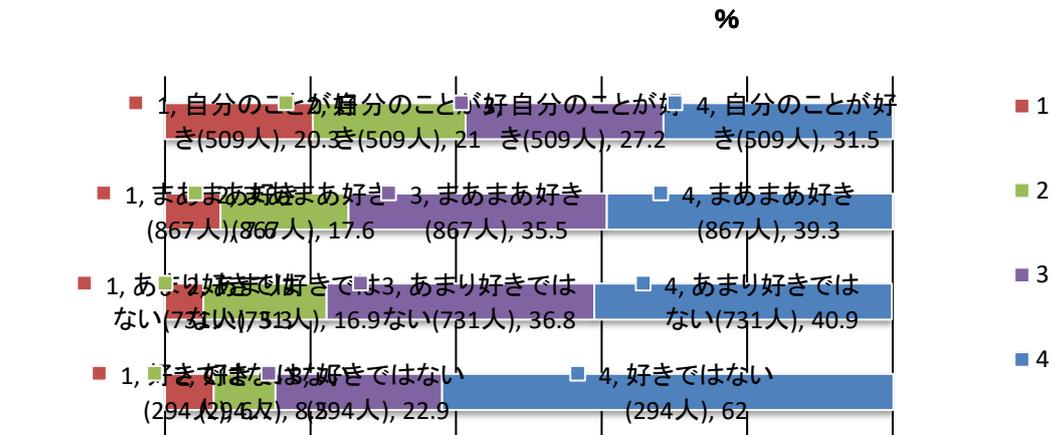


- ・地域で、あなたの考え、思っていることを「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」と思う子どもの割合は27.5%
- ・年齢が上がるにつれて、「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」子どもの割合が減少する傾向がある。
- ・自己肯定感の高い子どもは「地域で、自分の考え等を聞いてもらっている」と考える傾向がある。



自己肯定感とのクロス集計

地域で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか



問23 地域で、聞いてもらった内容は何ですか。

